

令和5年度事業報告書

令和5年 1月 1日から 令和4年 12月 31日まで

一般社団法人日本カーシェアリング協会

1. 重点事項

＜令和5年度 のテーマ＞

多拠点にチャレンジ！

＜重点項目＞

- ・3拠点設置(拠点設置方法のパターンを掴む)
- ・明確化(多拠点で展開するための基盤固めとして一層の業務の見える化・ルール化・マニュアル化)
- ・組織リニューアル準備(新 NPO 設立)

2. 事業報告

成果

- ・活用車両台数.....435 台 (前年比 145%増 +135 台)
- ・新規車両寄付受取台数.....363 台 (内訳)活用寄付 305 台※管理番号 726~1031、リサイクル寄付 58 台
(前年比 154%増 +220 台)
▷活用寄付 138%増 +177 台、リサイクル寄付 287%増 +43 台
- ・総貸出件数.....1,308 件 (前年比 96% -51 件)

事業	受益者数	内訳
コミュニティ・サポート事業部	27 地域 (1,249 名) ※前年比 108%増 +2 地域 112%増 +130 名	移動に課題のある地域・コミュニティ形成及び活性化等に貢献 ▷新規導入サポート..... 5 地域 (123 名) (内訳)設立..... 3 地域 (97 名) (内訳)テスト運行実施..... 2 地域 (26 名) ▷既存導入地域サポート..... 22 地域 (1,126 名) (内訳)石巻市内..... 10 地域 (595 名) (内訳)石巻市外..... 12 地域 (531 名)
ソーシャル・カーサポート事業部	リース:延べ 156 個人・団体 ※前年比 108%増 +12 件 レンタカー:延べ 506 件 ※前年比 97% -16 件	生活困窮者支援、NPO・移住者支援、災害の備え、震災伝承などに貢献 ▷NPO・移住者(ソーシャル・カーリース) 65 件 ▷災害の備え構築(災害時返却カーリース) ... 34 件 ▷被災者の継続支援(災害時特別カーリース) .. 31 件 ▷生活困窮要支援者支援(生活お助けリース) .. 26 件 ▷NPO・震災伝承・石巻地域振興支援 506 件 ▷うち語り部ナビ(震災伝承)利用 2 件
モビリティ・レジリエンス事業部	対応した自然災害:5 件 ※前年比 125%増 +1 件 貸出件数:644 件 ※前年比 93% -46 件 (活用車両 : ピーク時 278 台)	令和5年5月能登半島沖地震支援(石川) 2 件 令和5年6月台風2号支援(愛知・静岡・茨城) 148 件 令和5年7月豪雨支援(福岡・佐賀)..... 164 件 令和5年7月豪雨支援(秋田)..... 248 件 令和5年9月台風13号支援(千葉・福島) 82 件

■コミュニティ・サポート事業

【目標1】課題解決型 CCS を石巻につくる

- ・達成指標1) 繰越方式を導入する
- ・達成指標2) 世話人会での定期的なルール調整&募集の仕組みのカーシェア会を石巻で7地域ずつつくる
- ・達成指標3) チームで課題解決スキル5項目全て獲得
- ・達成指標4) 持続化進捗 70 達成
- ・達成指標5) 石巻 CCS 業務を 22 件明確化する

評価

- ・達成指標 1) 石巻市内 11 地域に導入をした【達成率:100%】
- ・達成指標 2) 石巻市内 7 地域(中央・のぞみ野・渡波・吉野・あゆみ野・荻浜・三ツ股)に導入をした【達成率:100%】
- ・達成指標 3) 5/5 項目獲得【達成率:100%】
- ・達成指標 4) 61/70 項目で進捗【達成率:87%】
- ・達成指標 5) 14/22 件明確化完了【達成率:64%】

実施内容

- ・カーシェア会の会計をより持続可能な体制に寄与する方式(繰越方式)に移行できるように制度を整え、研修や各地域の会合で説明を実施。会則変更のサポートも行うことで、希望する地域がスムーズに移行できた。
- ・各カーシェア会の運営に関する課題を解決するためのスキル獲得のためにファシリテーション研修・社内企画した課題解決に関する研修を受講した。各会に必要なルールの見直しを個別にサポートした。
- ・CCS 業務を明確化するため、14項目のマニュアルを作成。

総評

概ね目標を達成できた。総じて各カーシェア会の課題解決力を目標としていたレベル近くまで高めることができたように思う。実際に課題に対して主体的に取り組む姿勢を以前と比べてよく目にするようになった。スタッフのスキル獲得も研修を受けたり、意識しながら現場対応を行うことで獲得を目指したスキルはチーム内で新たに得ることができた。ただ、業務の一部で事業期間内に予定していた明確化ができなかった項目があるので、それらは次年度引き続き取り組む予定である。

課題

- ・突発的なトラブル(人間関係など)への対処に関してチーム内で対応できない場合がある。
- ・未達成となった「視察」・「CCS スポンサー」・「CCS 導入」に関する明確化が必要。
- ・担い手確保のために更なる仕組みづくりが必要。

【目標2】導入につなげる視察体制を構築する

- ・達成指標1) 視察 15 地域対応
- ・達成指標2) 視察を新規導入に 5 割つなげる(導入自体は次年度でも OK)
- ・達成指標3) 視察対応のマニュアル化
- ・達成指標4) チームで視察業務を完全対応
- ・達成指標5) 視察広報体制整備(動画発信・視察 WEB リニューアル)

評価

- ・達成指標1) 8/15 団体・地域の受入実施【達成率:53%】
- ・達成指標2) 0/1 地域【達成率:0%】
- ・達成指標3) 0/1 項目【達成率:0%】
- ・達成指標4) 1/1 対応【達成率:100%】
- ・達成指標5) 1/1 発信【達成率:100%】

実施内容

- ・8 地域・団体より視察受入対応を実施。
 - ▷ (一社)地域づくり美麻、事業構想大学院大学、住田町自治公民館連絡協議会、東京大学大学院、栃木市議会、(株)オートバックスセブン SX 事業推進部、南陽市市議会、飯豊町議会
- ・視察を訪れた方々へオンラインでカーシェア会との交流会の案内を行う等のフォローを行った。
- ・視察対応のマニュアルの制作着手。(未完)

- ・視察のを CCS チームで対応できるように少しずつ対応の幅を広げていき、最終的に一通りの対応がチーム内でできるようになった。
- ・視察紹介の動画を制作しWEBページで発信を行った。

総 評

目標に対しては 50%程度の達成であったが、これまで代表理事が対応してきた視察対応をチームで対応できるようになったことは体制として一歩前に進むことができた。次年度以降は、視察の件数を増やしたり、視察後の CCS 導入率を高めることできるように更なる体制強化をすすめていきたい。

課 題

- ・視察件数を増やすための対策が必要
- ・調整に工数がかかっているため効率化の検討が必要。
- ・新規導入に繋がるような工夫が必要。
- ・視察マニュアルの完成

【目標 3】 SC(生活支援コーディネーター)連携と事例紹介強化で導入促進

- ・達成指標1) 新規導入サポート 10 件対応
- ・達成指標2) CCS 事例紹介 18 件対応
- ・達成指標3) SC 用ツール作成と発信
- ・達成指標4) 導入手順&手続きマニュアル作成

評 価

- ・達成指標1) 5/10 件対応 【達成率:50%】※新規案件は 2 件(3 件は前年度からの継続対応)
- ・達成指標2) 10/18 件対応 【達成率:56%】
- ・達成指標3) 1/1 【達成率:100%】
- ・達成指標4) 0/1 【達成率:0%】

実施内容

- ・富士宮市杉田・宮古市田代・石巻市荻浜・豊田市水源、石巻市河北町でカーシェア会の新規導入サポートを推進。※富士宮市杉田・宮古市田代・石巻市荻浜は前年度からの継続支援
- ・10 件の事例紹介を実施した。
 - ▷岡山市ゼロカーボン研究会(1/20 実施) 登米市社協迫支所研修会(1/26 実施)
 - 秋田県小さな拠点事業(1/27 実施) 豊田市(5/11 実施)
 - 事業構想大学院大学(6/23 実施) 富山県黒部市(6/29 実施)
 - 富士市広見地区(8/16 実施) 山形県南陽市(8/22 実施)
 - 富士市議会(11/16 実施) 大東町自治会連絡協議会(11/21 実施)
- ・宮城県登米市石越地区「松の実フレンド」の設立にご協力いただいた生活支援コーディネーターへインタビューを実施し、全国の生活支援コーディネーターへ向けた紹介動画を作成した。
- ・CCS 導入手順のマニュアルの制作着手。

総 評

CCSの新規導入の受注並びに事例紹介の件数も目標を達成することができなかった。県外の CCS 導入に対して営業や広報的な人員配置ができなかったことが要因であり、体制を今後見直していきたい。一方、豊田市と CCS 普及促進に関する協定締結という自治体との連携における成功事例を得ることができたことは大きな成果だと言える。

課 題

- ・事例紹介を増やすための対策が必要。
- ・CCS新規導入を推進するための体制(人材不足)
- ・新規導入マニュアルの完成

【その他にあった取り組み】

- (1)コミュニティ・カーシェアリング導入・運営サポート事業
 - ・CCS 運営サポート:26 地域 (既存サポート 21 地域 + 新規 3 地域 + テスト運行中 2 地域)
 - ※解散 …やらいや逢坂(鳥取県大山市)
 - ※下線が令和 5 年度新規設立

宮城県	吉野町カーシェア会、あゆみ野カーシェア会、門脇カーシェア会、中央カーシェア会、渡波カーシェア会、三ツ股カーシェア会、大門町カーシェア会、のぞみ野カーシェア会、山下南カーシェア会、貞山運河カーシェア会、林際カーシェア会、松の実フレンド、 <u>荻浜カーシェア会</u> 、(テスト運行中)河北地区 ※テスト運行で終了
岩手県	上浜田アッシーくん、 <u>田代カーシェア会</u>
静岡県	<u>杉田 3,4 区街づくり協議会</u>
愛知県	(テスト運行中)水源自治区
滋賀県	葛川いきいきサークル
京都府	竹野活性化委員会 カーシェアリング部会
岡山県	助け英田 しちゃろう会、小鳥の森カーシェア会、おがもカーシェアリング倶楽部
鳥取県	永江ささえ愛カーシェア倶楽部、上北条ふれあい車会、まちづくり大山

(2) 地域向け研修会の実施

事務研修会(2/16 実施) 意見交換会(8/1 実施) 安全運転講習会(9/29 実施)
 大おちゃっこ(10/30 実施) 第4回オンライン交流会(12/20 実施)

(3) スタッフ向け研修、地域会合への参加

- ・3/16 ファシリテーション研修
- ・5/30 渡波包括主催「ケアマネ意見交換会」へ参加
- ・11/21 岩手県花巻市ふるさと高松げんき村視察
- ・社協主催「ささえあい会議」へ参加 (山下地区 6/26、中央地区 11/20、釜・大街道地区 11/24)

(4) 石巻市 SDGs モデル事業(グリーンスローモビリティの活用した協働による新たな移動手段の構成事業・AIロボットの活用による高齢者支援事業)

- ・グリーンスローモビリティ既導入グループへの運営サポート 1 地域

委 託	令和 4、5 年度地域課題サポート(コミュニティ・カーシェアリング)事業(石巻市)／令和 4 年度自治体 SDGs モデル事業グリーンスローモビリティ等運用支援業務(石巻市)／令和 4 年度自治体 SDGs モデル事業 AI ロボットの活用による高齢者支援業務(石巻市)／令和 5 年度グリーンスローモビリティ運営支援業務(石巻市)／宮城県コミュニティ・カーシェアリング導入支援業務(宮城県)／豊田市コミュニティ・カーシェアリング導入支援業務(豊田市)／コミュニティ・カーシェアリング導入支援事業業務(宮古市)／市街化調整区域の集落拠点における地域生活拠点活性化に向けた検討業務(富士宮市発注)(㈱都市環境研究所)
助 成 金	社会課題解決みやぎチャレンジプロジェクト(社会福祉法人宮城県中央共同募金会)
補 助 金	地域おこし協力隊(石巻市)／みやぎ地域復興支援助成金(宮城県)

※他、石巻市内のカーシェア会において地域互助活動推進事業助成金などを活用

■ソーシャル・カーサポート事業・損害保険代理店業務

【目標 1】 寄付車貸出事業の推進

- ・達成指標 1) カーリース : 貸出件数 220 件
 - ▷ ソーシャル・カーリース 80 件 (既存契約 64 件／新規契約 31 件 返却 15 件)
 - ▷ 災害時返却カーリース 総契約件数目標 100 件 (既存契約 6 件／新規契約 94 件 返却 0 件)
 - ▷ 生活お助けカーリースの契約件数目標 40 件 (既存契約 19 件／ 新規契約 31 件 10 件返却)

- ・達成指標2) レンタカー : 貸出し件数 600 件
 - ▷ 九州支部でのレンタカー営業開始
 - ▷ サポートレンタカーの貸出 10 件
 - ▷ 語り部ナビ(Smartbuddy)の貸出 10 件

評価

- ・達成指標1) 156 件/220 件 【達成率:71%】
 - ▷NPO・移住者(ソーシャル・カーリース) …… 65 件
 - ▷災害の備え構築(災害時返却カーリース) … 34 件
 - ▷被災者の継続支援(災害時特別カーリース)… 31 件
 - ▷生活困窮要支援者支援(生活お助けリース)… 26 件
- ・達成指標2) レンタカー貸出件数 506 件/600 件 【達成率:84%】
 - ▷ 九州支部、静岡支部、栃木支部でのレンタカー営業開始
 - ▷ サポートレンタカーの貸出 10 件
 - ▷ 語り部ナビ(Smartbuddy)の貸出 10 件

実施内容

- ・リースプランの見直しを実施。ソーシャル・カーリースを廃止し、NPO カーリース、移住カーリース、スポンサーカーリースという3つのプランを新設し、訴求力を向上させた。プレスリリースの発信の他、各地のNPO センターからの案内等を実施し、利用者への案内を実施した。早速新プランの申込があった。
- ・行政と連携した支援情報の展開を実施。生活お助けカーリース、災害時返却カーリースについて支部設置の都道府県から各市町に情報提供していただく動きをとった。情報提供から貸出要請につながることもあり、成果につながる動きとなった。
- ・九州、栃木、静岡支部手にレンタカー営業所登録を実施し、貸出を開始した。これにより、短期間、直近で車を使いたいという方のニーズにも応えられるようになった。今後の支部展開の一つの型ができた。

総評

新メニューの開始などでより必要としている方に車を使っていただけ状態をつくることができた。また、全国各地で災害対応を行ったことでその被災地での車の継続利用のリースの件数が増加した。全国各地で協会の車が活用されるようになっており、その管理手法についても学びの多い1年であった。

課題

災害時返却カーリースの展開については大きく課題が残る1年であった。

【目標2】車の寄付の受付業務の効率化と満足度向上のための仕組み構築

- ・達成指標1) 期日 受付日から引渡し完了まで1カ月以内完了 70%
- ・達成指標2) フォロー 過去の車の提供者との個別コミュニケーションを1回以上実施
- ・達成指標3) 品質 ご提供者様の初回アンケートにて対応満足度 80%

評価

- ・達成指標1) ほぼ達成 【達成率:69%】
- ・達成指標2) 50名程度の方に活用状況の報告を実施した 【達成率:12%】
- ・達成指標3) 満足度 94.4% (「とても満足」、「満足」回答の合計) 【達成率:100%】

実施内容

- ・車両の受付業務を kintone での実施に変更。
- ・やりとりがスムーズに進むように送付書類の改変や電話のロールプレイングなどを実施し、質の向上に努

めた。

- ・主に災害支援活動や宮城周辺で活用されている車両の報告を行った。

総 評

- ▷ 車両活用寄付件数…………… 305 台（前年度比 238% +177 件）
- ▷ 車両リサイクル寄付件数……… 58 台（前年度比 387% +43 件）

上記のように過去最大件数の受付対応を実施したものの、引渡し期日は目標としていた 70%に肉薄することができた。災害発生期前に車両寄付の書類フォーマットや仕組みの整理を行ったことが成果につながったものと思われる。また、電話対応に関しても新人の対応内容に対して上席がタイムリーにフィードバックするなどして品質の向上に努めることができたことがアンケートでの高評価に繋がったと考えている。

課 題

活用車両の写真が撮影、格納されていないことが多く、スムーズに提供者への報告をすることができなかつたため、翌年以降のブラッシュアップが必要。また、電子ツールを使うことができない提供者への報告の方法についても検討が必要である。

【目標 3】業務効率化、支援内容の発信のためのツール拡充と社内研修体制構築

- ・達成指標 1) 支援内容の価値を発信できる動画の撮影と公開 3 本以上
- ・達成指標 2) 車の寄付受付、リース対応マニュアルの作成と公開

評 価

- ・達成指標 1) 2/3 (67%) 【達成率:67%】
- ・達成指標 2) 日本総合研究所の協力のもと、業務マニュアルを作成した。【達成率:100%】

実施内容

- ・生活お助けカーリース、NPO カーリースプラン動画を 2 本公開した
- ・日本総合研究所の協力のもと、業務マニュアルを作成した

総 評

リースのプランの柱でもある NPO リースと生活お助けカーリースの紹介動画を作ることができた。また、日本総研様の協力により、質の高い業務マニュアルを作成することができた。

課 題

動画をより多くの方にみていただき、カーリースを申し込んでいただくためのマーケティング施策を展開する必要がある。

-	売上	総契約件数	新規契約	解約件数
カーリース	20,815,480 円	156 件※1	90 件※2	61 件※3
-	売上	貸出件数	語り部ナビ利用件数	
レンタカー	8,405,302 円	506 件	2 件	

※1 12/31 時点での有効契約件数 135 件

※2 解約件数のうち、災害時返却カーリースの解約 11 件

【その他にあった取り組み】

(1) 損害保険代理店業

- ・東北自動車共済と代理所委託契約を締結

委 託	なし
助 成 金	なし
補 助 金	原油・物価高騰による生活困窮者支援団体補助金(宮城県)

■モビリティ・レジリエンス事業

【目標1】3つの常設拠点設置と250台の車両確保体制構築

- ・達成指標1) 新規3拠点設置（候補地：岡山県・静岡県・栃木県他）
- ・達成指標2) 常設拠点設置ノウハウの整理とマニュアル化
- ・達成指標3) 災害時に250台車両確保できる体制構築
（災害返却100台・アライアンス70台・一般からの寄付60台・待機車20台）

評価

- ・達成指標1) 栃木県栃木市・静岡県富士市に新規拠点設置【達成率：67%】
- ・達成指標2) 2支部設置の経験をもとに、日本総研の協力で支部マニュアル作成【達成率：100%】
- ・達成指標3) 災害時の活用台数278台／250台【達成：100%】

実施内容

- ・過去災害対応した地域を中心に新規拠点設置すべく、自治体への相談やブログ・SNSで場所提供依頼を発信。
- ・5/10 栃木支部開所、5/22 静岡支部を開所。
- ・常設拠点設置マニュアル作成を日本総研の協力の元、完成した。
- ・災害時の車両確保のため、MRアライアンス加盟団体を増やしていった。（新規16団体追加）
- ・株式会社オートバックスセブンから毎年10台の寄付をいただくことが決定。
- ・災害時返却カーリース普及のためFacebook広告を活用。
- ・災害時は被災地及び近隣の都道府県での車集め、記者会見を実施した。（13回）

総評

3拠点設置に向けて調整した結果、岡山での調整が遅れ目標に1拠点及ばなかったが2拠点を設置することができた。合わせて獲得した拠点設置のノウハウもマニュアルとして整理することができた。また、災害時の車両確保の体制作りに関しては、実際の対応で目標としていた250台を超える台数の車両を集めることができたことから、目指していた体制を構築できたと言える。

課題

- ・今後新規拠点を設置するための財源確保。
- ・災害時返却カーリースの普及。

【目標2】モビリティ・レジリエンス・アライアンスの拡大

- ・達成指標1) MRA40団体・15自治体（新規22団体7自治体）
- ・達成指標2) 対応の年間スケジュール&対応マニュアル作成

評価

- ・達成指標1) MRA32団体・15自治体【達成率：85%】
- ・達成指標2) MRA年間スケジュール及び協定に向けての動きをまとめて作成【達成率：80%】

実施内容

- ・JU本部へ随時協定状況を報告し、各都道府県支部との協定に向け活性化を図った
- ・トヨタグループとの連携を進め、トヨタ自動車の子会社である中央精機グループ3社と協定締結
- ・（一社）日本自動車連盟（JAF）とのクラウドファンディングから連携を強め協定締結につながった
- ・災害対応実績自治体や出張先の自治体へアプローチ。（提案自治体15自治体）
- ・MRAへの情報発信のスケジュールを作成。協定に向けての動きをまとめた

▷ 災害時の連携協定締結 ※下線が令和5年度新規締結

企業・団体	32 企業・団体（新規 16 団体） アドバンスクラブ・エーモン工業株式会社・株式会社オートバックスセブン・JU 宮城 JU 熊本・日本ミシュランタイヤ株式会社・ルート産業株式会社・JU 岩手・JU 宮崎 JU 新潟・JU 静岡・JU 兵庫・JU 青森・JU 秋田・全日本ロータス同友会宮城県支部 株式会社ハンコックタイヤジャパン・JU 岐阜・JU 長野・中央精機株式会社・中央精機 東北株式会社・株式会社ウェッズ・JU 東京・株式会社カーセブン デジフィールド 一般社団法人日本自動車連盟・JU 長崎・JU 埼玉・JU 愛媛・JU 奈良・JU 京都 JU 富山・JU 大阪・JU 広島
自治体	15 自治体（新規 7 自治体） 石巻市・岡山県・熊本県・佐賀県・宮城県・岩手県・福島県・栃木市・ <u>人吉市</u> ・ <u>栃木県</u> <u>新潟県</u> ・ <u>豊田市</u> ・ <u>青森県</u> ・ <u>富山県</u> ・ <u>延岡市</u>

総 評

目標には少し届かなかったが、23 もの連携協定を新たに結ぶことができたことは大きな成果である。MR アライアンス締結先への年間のフォローの動きについても整理できたこともよかった。

課 題

- ・MR アライアンスで幅広い連携先を確保する必要がある。
- ・協定締結先との連携を深めるための企画が不足している。

【目標 3】 事業課題解決(活動資金と現地人材確保と体制)

- ・達成指標 1) クラウドファンディング 100 万円＋M サポーター 25 名
- ・達成指標 2) 災害対応人材バンク 5 名確保
- ・達成指標 3) 発災時に他事業への影響を最小限にするための対応マニュアル作成

評 価

- ・達成指標 1) クラウドファンディング 3,414,000 円＋M サポーター 0 名 【達成率:50%】
- ・達成指標 2) 災害対応人材 BANK 登録者 52 名 【達成率:100%】
- ・達成指標 3) 各事業部にて災害時の業務を整理し取りまとめた 【達成率:100%】

実施内容

- ・READYFOR にてクラウドファンディングを目標 300 万と設定し実施
- ・災害対応人材 BANK の運用開始。チラシを作成し広報を実施
- ・事務局、ソーシャル・カーサポート事業部を交えて災害時の業務整理を実施

総 評

2023 年度の取組を通して、事業が抱えている資金・人材・体制それぞれの課題を改善させることが確実にできた。

課 題

- ・マンスリーサポーターを増やすことができなかったこともあり、安定的な財源確保が課題である。
- ・人手が不足しているため、次年度は人材を拡充できるように試みたい。

【その他にあった取り組み】

(1)災害対応

災害	無償貸出期間	件数	実施地域	受益対象者の範囲
令和5年5月 能登半島沖地震支援	5/14~7/9	総数 2件	石川県珠洲市	珠洲市社会福祉協議会
令和5年6月 台風2号支援	<u>静岡県富士市</u> 6/5~10/31 <u>茨城県取手市</u> 6/13~10/31 <u>愛知県豊橋市</u> 6/20~10/31	<u>静岡県富士市</u> 長期貸出 9件 総数 9件 <u>茨城県取手市</u> 長期貸出 18件 総数 18件 <u>愛知県豊橋市</u> 長期貸出 108件 短期貸出 13件 総数 121件	静岡県富士市、 茨城県取手市、 愛知県豊橋市	実施地域周辺の被災住民及び支援団体
令和5年7月 豪雨支援	7/17~11/30	<u>福岡県久留米市</u> 長期貸出 64件 短期貸出 96件 総数 160件 <u>佐賀県武雄市</u> 長期貸出 4件 総数 4件	福岡県久留米市、 佐賀県武雄市	実施地域周辺の被災住民及び支援団体
令和5年7月 豪雨支援	<u>秋田県秋田市</u> 7/31~12/20 <u>秋田県五城目町</u> 8/4~9/30	<u>秋田県秋田市</u> 長期貸出 147件 短期貸出 88件 総数 235件 <u>秋田県五城目町</u> 短期貸出 13件 総数 13件	秋田県秋田市、 五城目町	実施地域周辺の被災住民及び支援団体
令和5年 9月台風13号支援	<u>福島県いわき市</u> 9/12~1/31 <u>千葉県茂原市</u> 9/29~1/31	<u>福島県いわき市</u> 長期貸出 48件 短期貸出 2件 総数 50件 <u>千葉県茂原市</u> 長期貸出 31件 短期貸出 1件 総数 32件	福島県いわき市、 千葉県茂原市	実施地域周辺の被災住民及び支援団体

(2)その他

- ・JVOAD 災害フォーラムにて車被災への備えに関する分科会を開催(12/13)
- ・ぼうさいこくたい 2023 にて車被災への備えに関するブースを出展(9/17,18)
- ・動画で利用者の声の発信(茨城・福岡・秋田・福島・千葉での災害現場)
- ・災害時に車の寄付いただいた愛知県・福岡県ディーラーへの御礼動画を作成し報告時に活用

委 託	なし
助 成 金	トヨタ・モビリティ基金／社会福祉法人中央共同募金会／公益財団法人日本財団／公益財団法人風立つライオン基金／特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
寄 付	Yahoo!ネット募金／佐賀ふるさと納税／一般社団法人日本自動車連盟クラウドファンディングプロジェクト／READY FOR クラウドファンディング

■事務局

【目標1】新設する常設拠点・支部の運営と人材育成

- ・達成指標1) 常設拠点・支部の設置と業務の明確化と運営マニュアルの作成
- ・達成指標2) 支部の運営 (赤字運営にならない支部運営の予算づくり)
- ・達成指標3) コミュニティ・キャピタルの向上 (自己有用感と居心地の良さの指数の向上)

評 価

- ・達成指標1) 日本総研の協力でマニュアル完成 【達成率:100%】
- ・達成指標2) 日本総研の伴奏支援の中で制作途中 【達成率:30%】
- ・達成指標3) 全体として0.37ポイント向上した 【達成率:100%】
(理念共有・貢献意欲 8.17→8.21 自己有用感 6.86→7.03 居心地の良さ 7.25→7.22)

実施内容

- ・モビリティ・レジリエンス事業部、日本総研と共同で運営マニュアルの作成を実施。支部の運営を通して、主な支部の役割はリース事業と災害時の車の提供、災害受付電話の対応や現地拠点の立上げサポートなど多岐に渡る活躍があった。
- ・静岡支部と栃木支部とで毎週定例のミーティングを設定。九州支部は隔週で実施。合同でのミーティングも実施しお互いに教え合う場となった。(ただし災害時などには一時休止) 予算書については、日本総研との打合せの中で支部の支出を確認しながら制作の途中。
- ・12/1～12/15 でコミュニティ・キャピタル診断の実施。
- ・九州支部も経営会議の資料を作成するように今年度から変更。

総 評

支部があることで特にリース事業、モビリティ・レジリエンス事業の動きが活発になった。車の寄付も受け取りやすくなった。

課 題

支部毎に活動量や作業内容に差があるのでなるべく作業の標準化、同じ品質、成功した事例は取り入れるなどして運営を軌道に乗せていきたい。また支部の運営に係る収入は支部でまかなえるように事業収入を増やしていく必要がある。

【目標2】 内部業務の効率化と明確化

- ・達成指標1) 四半期会計報告書の作成
- ・達成指標2) 各事業部に1名ずつフルタイムスタッフの増員
- ・達成指標3) kintoneによる災害時アプリの改善
- ・達成指標4) 活用での受取り基準と廃車基準の明確化(再設定)

評 価

- ・達成指標1) 四半期財務諸表の作成からキャッシュフローの報告に内容変更、毎月実施する【達成率:100%】
- ・達成指標2) 2名/3名達成 【達成率:67%】
- ・達成指標3) 着手中、期末時点で70%完成【達成率:70%】
- ・達成指標4) 見直しは実施したが廃車基準の落とし込みが未完了【達成率:80%】

実施内容

- ・当初、財務諸表の様式に沿った報告書を四半期毎に作成する予定だったが、省力化のため会計ソフト上の様式を使用する形式に変更した。
- ・従業員と外部エンジニアで分担し開発を進めた。期中では初回のテストを実施し、その結果を反映する修正・機能追加を作業中。
- ・災害対応が落ち着いた後に車の寄付に関して一連のブラッシュアップを実施。その際に受取り基準の見直しも実施した。廃車の基準はあるものの、全員が閲覧できるツールへの落とし込みが未完了。

総 評

kintone 災害アプリの改修、廃車基準の明確化など概ね進んだもののツールの完成までには至らなかった。

課 題

現状の仕組みなどでなんとかなっている点があり、完了まで導くことができなかった。

【目標3】 支援いただく方とのコミュニケーションの機会を増やし、参画を増やす

- ・達成指標1) 参画機会の増加
- ・達成指標2) 隔月でのオンラインイベントの開催
- ・達成指標3) kintoneによる支援者の参加度合い可視化
- ・達成指標4) kintoneによる車の寄付ストーリーの可視化と発信

評 価

- ・達成指標1) 参画度合を図るために kintone アプリの設計。運用の構築までいけず未達成【達成率:50%】
- ・達成指標2) 7回開催【達成率:100%】
- ・達成指標3) 着手中、関係者情報のインポート機能実装まで行う【達成率:20%】
- ・達成指標4) 寄付アプリに入力欄は作成し閲覧できるように準備したが発信までは未達成。【達成率:50%】

実施内容

- ・支援者の参画度合を図るために支援者管アプリを kintone で構築。過去データの取り込みを行った。クラウドファンディングのアタックリストとして運用した。今後、データの取り込みのタイミングや取り込み方法など運用に向けた制度設計が必要。クラウドファンディングの実施により78名の方が2回目以降の寄付につながった。

- ・オンラインイベントの開催 4/25 新しいことを始めよう！架け橋ドライバーMeet up
6/16 災害支援活動報告
6/27 クラファン公開直前イベント
7/24 JAF×日本カーシェアリング協会合同イベント
8/8 「車が足りない！」福岡・秋田支援の報告
9/19 令和5年災害支援報告会@東京(対面)
9/22 災害による車で困らない社会をつくるシンポジウム
- ・車両寄付の一連の業務を kintone で実施するように変更。車の提供理由なども記録する項目を設置し可視化できるように制度設計。発信にはまでは至らず。

総 評

Kintone アプリを通じて情報の集約ができるところまでは設計できたが、運用と情報の活用までには至らず。

課 題

情報の入力の手数が不足しているため自動化することで人手にかからない運用設計をする必要がある。

【目標4】 広報体制をつくり 活動財源と車を確保

- ・達成指標1) 車の寄付 250 台(新規 200 台、リサイクル寄付 50 台)
- ・達成指標2) ふるさと納税 300 万円確保
- ・達成指標3) HP のコンバージョン率の向上

評 価

- ・達成指標1) 363 台(活用寄付 305 台・リサイクル寄付 58 台)／250 台 【達成率:100%】
- ・達成指標2) 1,374,829 円／3,000,000 円 【達成率:45%】
- ・達成指標3) 目標を定めることができずに未達成

実施内容

- ・発災時にメディアへの発信や会見等を行ったため車を確保することができた。また、活用寄付で受取れない車に関しては、リサイクル寄付の案内を丁寧に行ったことが目標台数達成に大きく繋がっている。
- ・ふるさと納税は今年度大規模な改正があり、原材料の確認などを各事業者へ実施し、佐賀県へ書類の提出を行った。書類提出が遅れ 9 月以降掲載不可商品が出たが 12 月にはほぼ復旧した。
- ・新たに 2 事業者(東馬窯、綿島康浩工房)が加わり、8 事業者 45 品目となった。
- ・協会単体でクラウドファンディングを実施。目標金額を達成することができた。またクラファンの期間中にイベントや SNS を活用したシェア祭り、メールニュースの宛名に個人名表記など情報拡散のために様々な試みを実践することができた。
- ・X 活用強化のため、(一社)Honmono 協会の SNS コンサルによる伴走支援を 2023/1/30～2023/3/31 まで実施。X の毎日投稿にて活性化を図った。投稿ネタ収集については全スタッフが提供できるようチャットワークグループを作成し運用した。その後、2023/4/1～2024/1/31 はフォロワー増やしの専門家によるアクション代行サービスを活用。専門家が協会の活動に関心がありそうな企業・団体・個人へ「いいね」等のアクションを行った。結果、フォロワー数 790 人増加(699 人→1489 人)、エンゲージメント率 1.17 倍(3.4%→4.0%)、インプレッション数/投稿 3.60 倍(966→3480)と数字を伸ばすことができ、X が協会の発信ツールとして運用できる体制を整えることができた。

総 評

必要とする車両台数の確保ができた。また、寄付額の目標についてはふるさと納税単体では達成していないが、全体で見ると目標数値を達成できた。特にクラウドファンディングでは様々な試作を実施することが

できノウハウが蓄積された。

課題

兼任体制では業務時間の確保が大きな課題であるので次年度は外部人材に入ってもらいなど、体制を改める。

名称	期間	支援総額	目標金額
みやぎチャレンジプロジェクト	2022/12/1 ～2023/2/28	864,050 円	1,000,000 円
READYFOR クラウドファンディング	6/28～9/26	3,414,000 円	3,000,000 円
みやぎチャレンジプロジェクト	2023/12/1 ～2024/2/29	0 円	1,000,000 円

※12 月末時点での数値

【目標5】 NPO 法人の設立

・達成指標1) NPO 法人を設立する

評価

・達成指標1) 設立できた【達成率:100%】

実施内容

- ・NPO 法人あしたのカーシェアの設立。(7/20 設立)
- ・中古自動車査定士技能検定 2 名合格

総評

NPO 法人を設立し、第一歩を踏み出すことができた。

課題

以降の運営については NPO 法人で対応する

【その他にあった取組み】

(1) 事務局運営

- ・会計、総務、労務人事、法務の適切な実施

(2) 車両管理

- ・レンタカー車両の法定点検・車検の実施(日野モーター商会)
- ・その他車両・自動車保険の管理
- ・自動車保険 カーシェアフリート 70%→70%(上限値) / レンタカーフリート 37%→37%
- ・車両維持費 : 14,723,450 円(前年度比 138%)
- ・学生整備プロジェクト(石巻専修大学共同プロジェクト)

	実施日	学生数	参加車両台数
春の学生整備プロジェクト	4/19～21	19 名	50 台
秋の学生整備プロジェクト	11/15～17	19 名	54 台

協賛企業 日本ミシュランタイヤ株式会社、横浜ゴム株式会社、PIAA 株式会社、
 ルート産業株式会社、三共油化工業株式会社、
 パナソニックカーエレクトロニクス株式会社、株式会社ハンコックタイヤジャパン
 中央精機株式会社・中央精機東北株式会社・株式会社ウエッズ

(3) ファンドレイジング・広報

- ・寄付窓口の運営：佐賀県ふるさと納税・Yahoo!ネット募金・ソフトバンクつながる募金・メルカリ寄付
 amazon ほしいものリスト・READY FOR 継続寄付・マンスリーサポーター 他
- ・メールニュースやブログ、SNS、メールニュース、年次報告書を通じての活動情報の発信
- ・ホームページ定期更新

委 託	なし
助 成 金	東日本大震災現地 NPO 応援基金
補 助 金	なし

【受賞】 なし

正会員	6 名	準会員	13 名	賛助会員	26 名
-----	-----	-----	------	------	------

以上